

# 三重県防災航空隊



1. はじめに
2. 防災航空隊の概要
3. 活動状況
4. 機体紹介
5. 航空隊のシステム
6. おわりに

## はじめに

本県は南北に170kmと細長く、人口は、約187万人で北部から中部にかけて集中しています。面積の3分の1が森林で、山村地域が多く、離島も散在し、さらに四日市市周辺には、石油コンビナートがあり、災害が発生した場合において迅速、的確な対応が強く求められております。

本県では平成4年度に防災ヘリコプターを導入し、三重県防災航空隊を平成5年4月1日に発足させました。この防災航空隊の設置は県内消防防災体制の充実強化を図ることを目的とし、現在までの緊急運航出動件数は700件を超えています。

## 最近の緊急運航件数実績

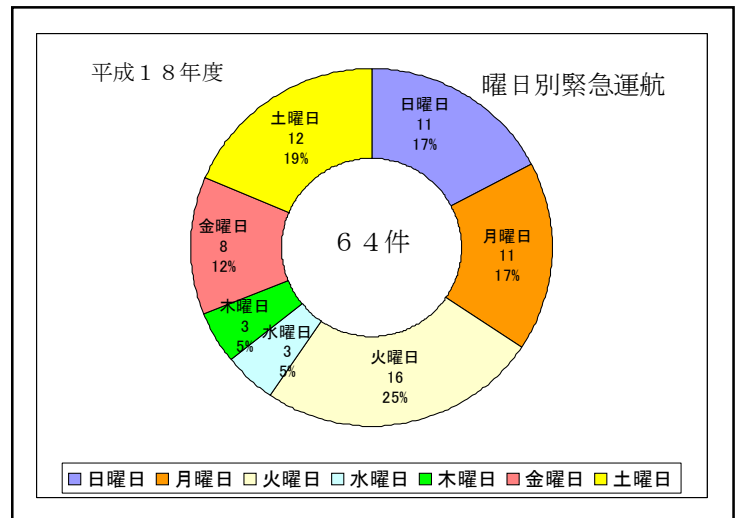
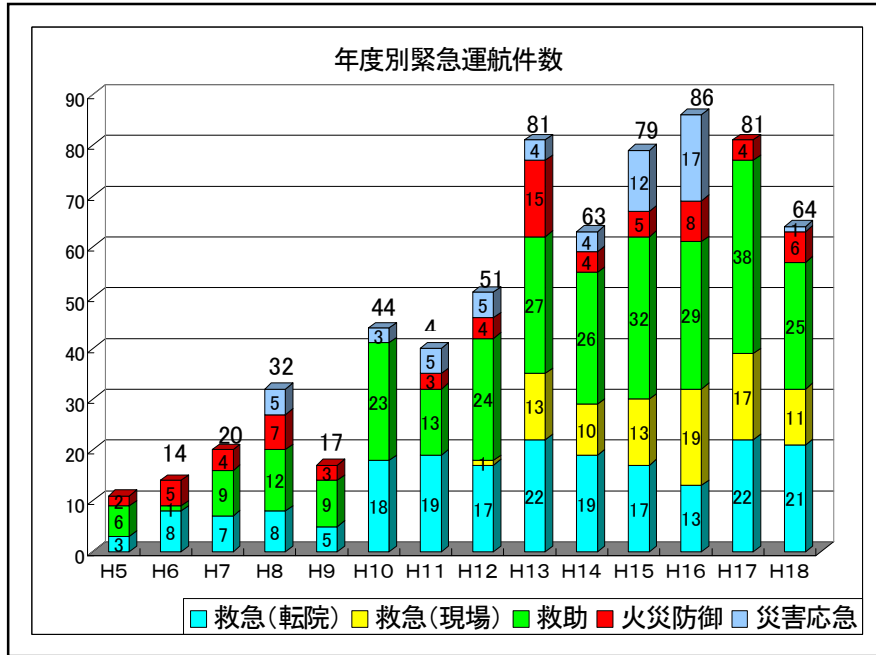
年度 区分	14	15	16	17	18
山岳救助	9	17	21	28	17
水難救助	15	12	8	10	8
火災防御	4	5	8	4	6
救急	29	30	32	39	32
災害対応	4	12	17	0	1
その他	0	0	0	0	0
計	63	79	86	81	64

## 防災航空隊の概要

管理体制は、統括管理者が防災危機管理部副部長兼総括室長、運航管理責任者が防災対策室長となっています。組織上は防災危機管理分野防災対策室内の一つとして防災航空グループが置かれています。運航は、通年365日体制で通常は8時30分から17時15分までとなっており、緊急運航は、日の出から日没まで活動を行います。また、夜間は当直勤務を隊員1名が行い緊急運航要請等に備えています。そして大規模災害への対応、特に総括管理者が必要と認める場合（被害状況把握活動等）、及びその訓練を行う場合は、夜間運航を行うことも可能です。

三重県は、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県、和歌山県、及び京都府の1府5県との県境を有し隣接しています。それぞれに、愛知県、岐阜県、静岡県、名古屋市とで「四県一市航空消防防災相互応援協定」、「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」さらに和歌山県、奈良県とで「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」を締結しています。

## 活動状況



## 機体紹介

機種はベル412HPで、全国の防災機の中では唯一1機のみであります。機体カラーは白地に三重県の頭文字 M が青と赤でデザインされています。青い色は県内の美しい海を、赤い色は燃える情熱を表しています。



### 航空隊所属のヘリコプターについて

愛称	「みえ」
整備年度	平成4年度
機種	「ベル412HP」
登録番号	「JA6703」
定員	15名
全長	17.1m
全幅	2.8m
ローター直径	14.0m
全高	4.6m
エンジン出力	1800SHP
巡航速度	204km/h
航続距離	489km

## 航空隊のシステム

航空隊員の派遣期間は3年間です。県内には15消防本部があり、県庁所在地の津市を始め、桑名市、四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市の6消防本部からは通年で隊員が派遣され、残りの9消防本部からはローテーションにより2名ずつ派遣されております。隊長についてははじめに挙げた6消防本部から順番で派遣され隊長以下9名で編成されます。グループリーダーの県職員が1名、運航は民間航空会社（中日本航空株式会社）に委託し、常勤者は、機長1名、整備長1名、整備士1名、運航管理1名、運航補助員1名の、総勢15名で編成されています。



## おわりに

三重県防災航空隊について紹介しました。  
三重県に来られた折は一度立ち寄ってください。新しい情報・技術・知識等ありましたら、是非ご提供をお願い致します。

〒514-0301

三重県津市雲出鋼管町2-2

TEL 059-235-2555

FAX 059-235-2557



BELL 412HP JA6703